

○事業所名	AIAI PLUS 稲毛駅東口		
○保護者評価実施期間	2024年11月 1日		～ 2024年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2024年11月1 日		～ 2024年 12月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	15	(回答数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所訪問支援の目的が説明されている。	保育園、幼稚園、小学校などの訪問支援が必要なお子様の保護者に対して、丁寧に説明を行えるよう心がけている。	職員の研修の実施や育成を行いながら、知識を深めていき利用者や保護者に丁寧な説明を行うようにしていく。
2	訪問支援の頻度や時間について、保護者さまと相談の上行っている。	欠席時の振替を可能限り対応をし、前回数の訪問実施を心がけています。	訪問先が増えた際、頻度や時間の対応を行い、お子様や保護者のサポートを心がけていく。
3	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を心がけている。	フィードバックや家族連携(個別)にて、可能なかぎり意思疎通ができるよう心がけています	保護者との情報共有をする場面を設定し、意思疎通ができるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援に使用する教具教材が整えられている	訪問先で間接支援が多いが、保護者さまに直接支援での教具や教材について、お伝えをする機会を作っていく。	保護者さまに直接支援でのメリットもお伝えをしながら訪問先での支援に繋がられるように心がけていきます。
2	訪問先施設と連携し緊急時の対応について、連携して実践できていない。	訪問先との連携を取り、緊急時の対応が(遠くの幼保園など)の未確認があった。	訪問先との連携を密に行い、緊急時の対応について、確認をしていく。園との話し合いで、避難訓練の参加なども検討していきたい。
3	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない	ペアレントトレーニングの実施ができていなかった	ペアレントトレーニングを実施できるように検討していきます。